

福岡市の小中学校の空調整備状況

普通教室

◆平成26～28年度：全小中学校の普通教室の空調整備
※小学校121校（2,298教室），中学校 56校（974教室）



学校の使用期間・使用時間

【夏季】 5月上旬 ～ 10月上旬（6～9時間/日）
【冬季】 11月上旬 ～ 3月下旬（5～9時間/日）

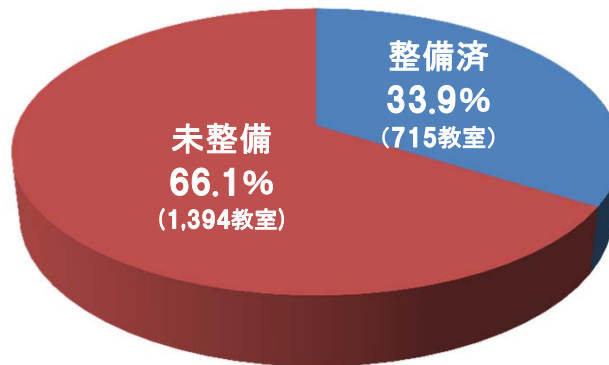
整備の効果

- 授業中の集中力の改善・向上
- 体調不良を訴える児童生徒が減少
⇒ H25とH30の7、9月の保健室来室者数を学校を抽出して比較すると、約3割減少した
- 暑さによるイライラの軽減
⇒ 円滑な人間関係づくり
- 屋外で過ごした後の、体温のフォローが可能
⇒ 体育、休み時間も活発に活用
- 教員の職場環境の改善 など

特別教室

◆特別教室とは・・・
図書室、音楽室、理科室、図工室、美術室、家庭科室、技術室、パソコン教室 など

特別教室の空調整備状況



保有教室 2,109教室

- ◆整備済の教室（715教室）
- 小学校（図書室、パソコン教室）
 - 中学校（第1音楽室、図書室、パソコン教室）



特別教室の空調整備を行う都市が増加

学校施設を取り巻く環境

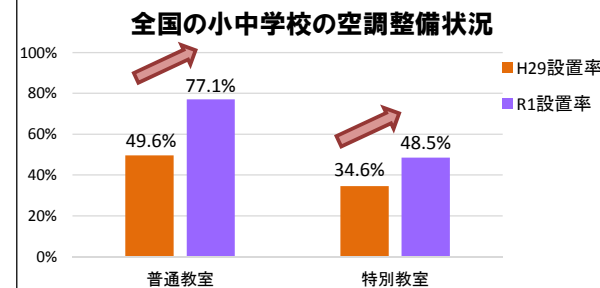
気象

- 全国的に、毎年続く猛暑、命にかかわるような災害級の大雨の頻発
- 福岡市の年平均気温（100年あたり）が2.55℃上昇（九州山口の平均1.7℃上昇）
- 福岡市における真夏日の増加と長期化
平成30年度：75日（うち9、10月⇒11日）
令和元年度：55日（うち9、10月⇒16日）

その他

- ✓ 授業における不都合の発生
特別教室での実験を控える など
- ✓ PTAや学校現場からの強い要望
- ✓ 要配慮者のための「福祉避難室」としての役割

全国の整備状況



※文部科学省による全国の空調設備整備状況調査より
※設置率＝設置室／保有室